

建築視察 ニューヨーク、エール大学、フィラデルフィア、落水荘

郊外泊+専用車のニューヨークだから、旅行費用の儉約がなによりの魅力です

近代建築が摩天楼デビューして、ニューヨークはいま激変中。フランク・ゲーリー、ノーマン・フォスター、レンゾ・ピアノ、アシンプトート、ウインカ・ダベルダム、チャールズ・グワズミー、リチャード・マイヤー、モルフオーシス、ジャン・ヌーベル、ジェームス・ポルシェック、バーナード・チュミなど、世界各国の巨匠たちがこの街に、たくさんのプロジェクトを竣工させて、刻々とマンハッタンのスカイラインを更新しています。

現在進行形の今見るべきニューヨーク・建築モダンの数々をメイン・テーマに現代建築の宝庫、エール大学キャンパス、フィラデルフィアからフランク・ロイド・ライトの落水荘までをカバーするアメリカ東部の建築デザイン徹底視察プランです。

ニューヨークの建築デザイン視察は、こう攻める！！

郊外泊のサンプル・スケジュール(延泊可)

第1日	<p>午前のフライトでJFK着後、コーディネーターと共に専用車で市内視察に出発。テロ以降、なんとなく旅行者の足が遠のいている間もこの街はお構いなしに進化を続けていました。フランク・ゲーリー、ノーマン・フォスター、レンゾ・ピアノ、アシンプトート、ウインカ・ダベルダム、チャールズ・グワズミー、リチャード・マイヤー、モルフオーシス、ジャン・ヌーベル、ジェームス・ポルシェック、バーナード・チュミ、フィリップ・スタルク、谷口吉生などの今を代表する建築家のプロジェクトを外側から見学。</p> <p>最寄のレストランで夕食の後、ニューヨーク郊外のホテルに投宿。(11時間)</p>
第2日	<p>前日に引き続き、主に9/11以降の有名建築家のプロジェクトの見学とあわせて、フィリップ・ジョンソン、ケビン・ローチ、イーロ・サーリネン、フランク・ロイド・ライト、ミース・ヴァン・デル・ローエ、SOMなどの50年代から60年代の建築家の作品を見学。</p> <p>マンハッタンのレストランで夕食の後、ニューヨーク郊外のホテルへ。(12時間)</p>
第3日	<p>現代建築の宝庫、エール大学のキャンパスを見学。ブリティッシュ・アート・センター、エール・アート・ギャラリー(共にルイス・カーン)、インガルズ・ホッカー・センター(イーロ・サーリネン)、美術建築学部校舎(ポール・ルドルフ)、ベイネック図書館(SOM)、ナイツ・オブ・コロパス(ケビン・ローチ)、クライン生物学研究棟(フィリップ・ジョンソン)などのいくつかを外側から見学。</p> <p>最寄のレストランで夕食の後、ニューヨーク郊外のホテルへ。(12時間)</p>
第4日	<p>朝、専用車でフィラデルフィアに向けてホテルを出発。ベス・シャローム・シナゴーク(フランク・ロイド・ライト)、ベンチュリの母の家(ベンチュリ)、フィッシャー邸、エシエリック邸、リチャーズ医学研究所(共にルイス・カーン)、ダウンタウンのヘルムート・ヤーンの高層オフィスビルを外側から見学。</p> <p>最寄のレストランで夕食の後、フィラデルフィア郊外のホテルに投宿。(12時間)</p>
第5日	<p>早朝、専用車で落水荘に向けてホテルを出発。ピッツバーグ郊外の落水荘(フランク・ロイド・ライト)を視察。</p> <p>最寄のレストランで夕食の後、ピッツバーグ郊外のホテルに投宿。(12時間)</p>
第6日	<p>朝、ピッツバーグ空港へ。チェック・インの後終了。(空港送り)</p>

()内は専用車の使用時間例



左上、ブルー・ビル(チュミ)、上中、ニューヨーク・タイムズ本社(ピアノ)、右上、ハースト・ビル(フォスター)、右下、アイエイシー本社(ゲーリー)、右下、ボンドストリート(ヘルツォーク)

落水荘は毎週水曜日定休です、ご注意ください。また、1月、2月は休館となり、11月下旬と12月、3月上旬は週末のみ開館となりますのでご了承ください。



人数が多い場合は、10人乗りバン 安心のキャデラック・サービス

(株)ビッグアップルコーポレーション

BIG APPLE CORPORATION Phone: 03-5687-5777
Sakai Building, 2-20-4, Kojima Fax: 03-5687-5775
Taito-ku, Tokyo <http://www.bigapple-world.co.jp>

Email: appleroad@aol.com

1984~2011

27 Years of
Excellence

創立27年